

## 新 旧 対 照 表

| 新  | 旧   |
|--|---|
| <p>1～4 (4) (略)</p> <p>(5) 今後の方針</p> <p>養父市は、これまで4町で行ってきた施策を踏襲しながら、豊かな自然や遺産を有効に利用した「まるごと自然～但馬中央の郷 養父市」を目指している。</p> <p>「まるごと自然」は、養父市の最大の地域資源である豊かな自然資源を活かしたまちづくりを意味する。養父市は、総面積の約84%を森林が占めその合間を縫うように清流・八木川、大屋川が円山川に合流し、市の中心部を流れ、豊岡市へとそそいでいる。</p> <p>地球温暖化防止対策の一環として森林資源が重要視されつつあること、水資源の環境保全に地域住民と連携した活動を進めるべきだという考え方が普及しつつあること、豊かな自然が地域活性化のための資源として評価されていること、広葉樹林の再生が安全なまちづくりにつながるとの認識を持ち、その輪が広がりつつあることなどを踏まえ、人が豊かな自然を保護・利活用しながら養父市の特性・自然を活かした産業の再生・育成を図り、環境に優しいまちづくりを目指している。</p> <p>「但馬中央の郷」は、豊かな自然とともに数多くの歴史・文化遺産を活用することで、都市と農村との交流拠点、地域間の交流拠点を目指すことを意味している。</p> <p><u>また、北近畿豊岡自動車道（和田山八鹿道路）が、平成23年度末の供用を目指し、順次整備されている。</u></p> <p>今回、この地域再生計画では、<u>北近畿豊岡自動車道と道整備交付金により整備した道路で、交流拠点を結ぶ新しいネットワークをつくることにより、更なる交流の促進、観光・農林業・商業の振興、地場産業の再生、新</u></p> | <p>1～4 (4) (略)</p> <p>(5) 今後の方針</p> <p>養父市は、これまで4町で行ってきた施策を踏襲しながら、豊かな自然や遺産を有効に利用した「まるごと自然～但馬中央の郷 養父市」を目指している。</p> <p>「まるごと自然」は、養父市の最大の地域資源である豊かな自然資源を活かしたまちづくりを意味する。養父市は、総面積の約84%を森林が占めその合間を縫うように清流・八木川、大屋川が円山川に合流し、市の中心部を流れ、豊岡市へとそそいでいる。</p> <p>地球温暖化防止対策の一環として森林資源が重要視されつつあること、水資源の環境保全に地域住民と連携した活動を進めるべきだという考え方が普及しつつあること、豊かな自然が地域活性化のための資源として評価されていること、広葉樹林の再生が安全なまちづくりにつながるとの認識を持ち、その輪が広がりつつあることなどを踏まえ、人が豊かな自然を保護・利活用しながら養父市の特性・自然を活かした産業の再生・育成を図り、環境に優しいまちづくりを目指している。</p> <p>「但馬中央の郷」は、豊かな自然とともに数多くの歴史・文化遺産を活用することで、都市と農村との交流拠点、地域間の交流拠点を目指すことを意味している。</p> <p>今回、この地域再生計画では、道整備交付金により交流拠点を結ぶ新しいネットワークをつくることにより、更なる交流の促進、観光・農林業・</p> |

| 新   | 旧  |
|---|--|
| <p>しい産業の創造、雇用の確保などを図り、「まるごと自然～但馬中央の郷 養父市」の実現を目指している。</p> <p>(目標1) 道路、農林道整備による拠点施設へのアクセス改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>渋滞緩和</u>や時間短縮することにより、その間を移動することに係る経費が少なくなるほか、燃料消費が少なくなり、二酸化炭素の排出量を少なくすることができる。</li> <li>○但馬長寿の郷などのトガ山ゾーンと小佐地区の時間短縮<br/>(市道高柳小佐線 15分 → 8分)</li> <li>○主要地方道関宮小代線と鶴縄地区の時間短縮<br/>(市道鶴縄線 5分 → 3.8分、<br/>路線バス(マイクロバス)とのすれ違い不能 → 可能)</li> <li>○国道9号と養父市役所へのアクセス向上・時間短縮<br/>(市道八鹿朝倉線 10分 → 7分)</li> <li>○国道312号と岩崎地区の時間短縮<br/>(市道岩崎線 10分 → 8.5分)</li> <li>○<u>国道9号の渋滞緩和</u><br/>(<u>朝倉高柳線 国道9号(上り線)のICまでの渋滞緩和</u><br/><u>渋滞予想距離 3km → 2km</u>)</li> </ul> <p>(目標2) 農林業の振興と但馬の風土にあった地域環境の改善(特産品の育成、広葉樹林の再生・保護)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・林道が通行可能になることにより、林産物(材木・しいたけ等)の集出荷や森林の下刈り・枝打ち・間伐などの維持管理作業が容易になる。また、登山道・山道などと連絡することにより、珍しい動植物の生息地・景勝地などと連絡することができるほか、森林浴の場所にも活かすことができる。</li> </ul> | <p>商業の振興、地場産業の再生、新しい産業の創造、雇用の確保などを図り、「まるごと自然～但馬中央の郷 養父市」の実現を目指している。</p> <p>(目標1) 道路、農林道整備による拠点施設へのアクセス改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間短縮することにより、その間を移動することに係る経費が少なくなるほか、燃料消費が少なくなり、二酸化炭素の排出量を少なくすることができる。</li> <li>○但馬長寿の郷などのトガ山ゾーンと小佐地区の時間短縮<br/>(市道高柳小佐線 15分 → 8分)</li> <li>○主要地方道関宮小代線と鶴縄地区の時間短縮<br/>(市道鶴縄線 5分 → 3.8分、<br/>路線バス(マイクロバス)とのすれ違い不能 → 可能)</li> <li>○国道9号と養父市役所へのアクセス向上・時間短縮<br/>(市道八鹿朝倉線 10分 → 7分)</li> <li>○国道312号と岩崎地区の時間短縮<br/>(市道岩崎線 10分 → 8.5分)</li> </ul> <p>(目標2) 農林業の振興と但馬の風土にあった地域環境の改善(特産品の育成、広葉樹林の再生・保護)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・林道が通行可能になることにより、林産物(材木・しいたけ等)の集出荷や森林の下刈り・枝打ち・間伐などの維持管理作業が容易になる。また、登山道・山道などと連絡することにより、珍しい動植物の生息地・景勝地などと連絡することができるほか、森林浴の場所にも活かすことができる。</li> </ul> |

| 新   | 旧   |
|---|---|
| <p>○林道開設による通行可能箇所を増<br/>通行可能区間 → 2箇所増</p> <p>○広葉樹林の再生（「命育む広葉樹の森づくり事業」、「チシマザサ群落の刈り払いによる広葉樹再生事業」（平成14年度開始）<br/>植樹面積…3.0ha → 4.6ha</p> <p>○間伐実施面積 → <u>7.5ha</u>増（平成23年度）</p> <p>（目標3）農山村風景の再生</p> <p>○棚田オーナーの数…80区画・50オーナー →<br/>100区画・60オーナー</p> <p>○ラベンダーオーナーの数とフェスティバル入場者数…<br/>80オーナー・1,200人 →<br/>100オーナー・1,500人</p> <p>（目標4）若い人が定住でき経済的活力のあるまちづくり<br/>（地場産業の再生・企業誘致等）</p> <p>○有機・減農薬栽培面積…64.1ha → 75.0ha</p> <p>○観光客数（スキー場関係）…40万人 → 45万人</p> <p>○企業誘致数（合併後）…0企業 → 5企業</p> <p>5. 目標を達成するために行う事業<br/>（5-1）全体の概要<br/>主要地方道養父宍粟線と一般県道日影養父線を南北に結ぶ道路「市道高柳小佐線」は、トガ山を挟み高柳地域と九鹿地域の間を連結する重要な路線である。また、高柳側に高速道路のインターチェンジも予定されており、九鹿側は、市道知見八鹿線改良工事が、平成19年秋に完成する予定で、八鹿イン</p> | <p>○林道開設による通行可能箇所を増<br/>通行可能区間 → 2箇所増</p> <p>○広葉樹林の再生（「命育む広葉樹の森づくり事業」、「チシマザサ群落の刈り払いによる広葉樹再生事業」（平成14年度開始）<br/>植樹面積…3.0ha → 4.6ha</p> <p>○間伐実施面積 → <u>6.5ha</u>増（平成23年度）</p> <p>（目標3）農山村風景の再生</p> <p>○棚田オーナーの数…80区画・50オーナー →<br/>100区画・60オーナー</p> <p>○ラベンダーオーナーの数とフェスティバル入場者数…<br/>80オーナー・1,200人 →<br/>100オーナー・1,500人</p> <p>（目標4）若い人が定住でき経済的活力のあるまちづくり<br/>（地場産業の再生・企業誘致等）</p> <p>○有機・減農薬栽培面積…64.1ha → 75.0ha</p> <p>○観光客数（スキー場関係）…40万人 → 45万人</p> <p>○企業誘致数（合併後）…0企業 → 5企業</p> <p>5. 目標を達成するために行う事業<br/>（5-1）全体の概要<br/>主要地方道養父宍粟線と一般県道日影養父線を南北に結ぶ道路「市道高柳小佐線」は、トガ山を挟み高柳地域と九鹿地域の間を連結する重要な路線である。また、高柳側に高速道路のインターチェンジも予定されており、九鹿側は、市道知見八鹿線改良工事が、平成19年秋に完成する予定で、八鹿イン</p> |

| 新   | 旧   |
|---|---|
| <p>ターチェンジと豊岡市にある神鍋高原を最短距離で結ぶ道路として、新しい交通ネットワークを構築することへの期待がますます高まっている。</p> <p>「市道鶴縄線」は、国道9号・主要地方道養父小代線から安井・鶴縄集落を経て、氷ノ山登山口、氷ノ山国際スキー場を結ぶ重要な路線である。しかし、幅員が狭小で、大型車通行及びすれ違い通行が不可能であり、地域間交流のみならず、地域生活にも大きな障害となっている。</p> <p>そこで、当該道路を拡幅整備し、この道路本来の機能を発揮させ、国道9号・主要地方道から安井・鶴縄集落を経て、国定公園へのアクセスの向上を図る。</p> <p>氷ノ山山麓（鶴縄溪谷）で実施中の「命育む広葉樹の森づくり事業」や「チシマザサ群落の刈り払いによる広葉樹再生事業」を推進し、美しい自然を後世に伝える。</p> <p>「市道八鹿朝倉線」は、国道9号と主要地方道養父山崎線を南北に結ぶ重要な路線である。沿道に木材市場があるにもかかわらず、大型トラックの通行が困難な状況である。</p> <p>当該道路を拡幅整備し、この道路本来の機能を発揮させるとともに、合併後の市役所へのアクセス道として新しい交通ネットワークを構築し、地域内交通の円滑化、歩行者の安全確保を図る。</p> <p>「市道岩崎線」は、幅員が<b>3.5m</b>と狭く、急な山と農地の間を走っており、迂回路も全くないため、土砂崩れなどですぐに孤立してしまう。平成16年の台風23号でも2箇所で大規模な土砂崩れが発生し、孤立したうえに土砂崩れにより河川が堰き止められ、水が溢れ出すなど大きな被害にあった。</p> <p>岩崎集落、集落の周りがある森林・林道から主要な道路までの道路整備を図る。</p> | <p>ターチェンジと豊岡市にある神鍋高原を最短距離で結ぶ道路として、新しい交通ネットワークを構築することへの期待がますます高まっている。</p> <p>「市道鶴縄線」は、国道9号・主要地方道養父小代線から安井・鶴縄集落を経て、氷ノ山登山口、氷ノ山国際スキー場を結ぶ重要な路線である。しかし、幅員が狭小で、大型車通行及びすれ違い通行が不可能であり、地域間交流のみならず、地域生活にも大きな障害となっている。</p> <p>そこで、当該道路を拡幅整備し、この道路本来の機能を発揮させ、国道9号・主要地方道から安井・鶴縄集落を経て、国定公園へのアクセスの向上を図る。</p> <p>氷ノ山山麓（鶴縄溪谷）で実施中の「命育む広葉樹の森づくり事業」や「チシマザサ群落の刈り払いによる広葉樹再生事業」を推進し、美しい自然を後世に伝える。</p> <p>「市道八鹿朝倉線」は、国道9号と主要地方道養父山崎線を南北に結ぶ重要な路線である。沿道に木材市場があるにもかかわらず、大型トラックの通行が困難な状況である。</p> <p>当該道路を拡幅整備し、この道路本来の機能を発揮させるとともに、合併後の市役所へのアクセス道として新しい交通ネットワークを構築し、地域内交通の円滑化、歩行者の安全確保を図る。</p> <p>「市道岩崎線」は、幅員が<b>3.5m</b>と狭く、急な山と農地の間を走っており、迂回路も全くないため、土砂崩れなどですぐに孤立してしまう。平成16年の台風23号でも2箇所で大規模な土砂崩れが発生し、孤立したうえに土砂崩れにより河川が堰き止められ、水が溢れ出すなど大きな被害にあった。</p> <p>岩崎集落、集落の周りがある森林・林道から主要な道路までの道路整備を図る。</p> |

| 新   | 旧   |
|---|---|
| <p><u>「市道朝倉高柳線」は、米里・朝倉などの集落の中を通る市道であるが、現在でも国道 9 号の上り車線が渋滞するため、迂回路として多くの車両が通過しており、集落内は、非常に危険な状況にある。</u></p> <p><u>北近畿豊岡自動車道が開通すれば、国道 9 号の渋滞はいつそう長くなり、市道朝倉高柳線の通行量はますます増加することが予想される。</u></p> <p><u>子供やお年寄りが安心して通行できるよう車道を拡幅し、歩道を設置する。</u></p> <p>また、林道は、森林の多面的機能の持続的発揮、林業・林産業の振興、山村地域の活性化に不可欠な施設であり、本計画では、森林施設、自然散策、森林浴、登山道などをはじめ、通勤等の生活道路としても活用されている路線について整備を行う。まず、「林道須留ヶ峰線」については、森地区の県道森大屋号線を起点に、朝来市佐囊地区の国道 4 2 9 線まで連絡する線形となっている。当該林道は、朝来市との市境に位置する須留ヶ峰（標高 1,053m）をはじめ、1,000m 級の山岳地域を縦断する県内で最も高規格な林道であり、沿線には豊かな人工林が広がっていることから、これらの森林の適切な保全管理が強く求められている。効率的・効果的な森林整備を推進していくには、森林整備に直結した林内路網の整備が絶対条件となるが、その骨格的な位置づけとなる「林道須留ヶ峰線」の開設整備は、これまで到達することさえも困難であった山間奥地林へのアクセスが向上するほか、森林整備に直結した森林管理道や作業道等の支線を計画的かつ容易に設置できる。また、「<u>林道八木谷大谷線</u>」については、関宮地区の市道八木谷・横次線を起点に大谷地区の市道末広線に連絡する森林管理道で、妙見山山麓に広がる豊かな森林を適正に維持管理するための幹線的な林道としての役割が期待されているほか、通称「妙見道」と呼ばれる登山道とも連結し、点在する滝、美しい紅葉樹林などを眺望できるため、自然散策、森林浴など、地域の活性化に期待が寄せられている。</p> | <p>また、林道は、森林の多面的機能の持続的発揮、林業・林産業の振興、山村地域の活性化に不可欠な施設であり、本計画では、森林施設、自然散策、森林浴、登山道などをはじめ、通勤等の生活道路としても活用されている路線について整備を行う。まず、「林道須留ヶ峰線」については、森地区の県道森大屋号線を起点に、朝来市佐囊地区の国道 4 2 9 線まで連絡する線形となっている。当該林道は、朝来市との市境に位置する須留ヶ峰（標高 1,053m）をはじめ、1,000m 級の山岳地域を縦断する県内で最も高規格な林道であり、沿線には豊かな人工林が広がっていることから、これらの森林の適切な保全管理が強く求められている。効率的・効果的な森林整備を推進していくには、森林整備に直結した林内路網の整備が絶対条件となるが、その骨格的な位置づけとなる「林道須留ヶ峰線」の開設整備は、これまで到達することさえも困難であった山間奥地林へのアクセスが向上するほか、森林整備に直結した森林管理道や作業道等の支線を計画的かつ容易に設置できる。「<u>林道本谷線</u>」は、森林へのアクセス機能を向上させ、林業の効率化を図るとともに、森林管理道「<u>八木谷・大谷線</u>」と連絡し、アクセス機能を向上させる。</p> <p>通称「妙見道」と呼ばれる登山道とも連結し、点在する滝、美しい紅葉樹林などを眺望できるため、自然散策、森林浴など、地域の活性化に期待が寄せられている。</p> |

| 新  | 旧   |
|--|---|
| <p>さらに「東鉢体験村・グリーンツーリズム事業」、「別宮 ラベンダー・棚田のオーナー制度」、「轟大根ファンクラブ」、交流人増加事業「大屋棚田オーナー制度」、「岩崎 むらづくり委員会事業」、「城下町 八木の明日をつくる会事業」、「小佐 赤米の田植え・稲刈り交流事業」、「姉妹提携都市(北海道留寿都村)との交流事業」、「交流協定都市(兵庫県明石市)との交流事業」など従前から養父市内で行ってきた、交流事業、また、地場産業の再生、地域の特性を活かした新しい企業の誘致をさらに推進、定着させるため、地域住民の参画による事業実施を推進することで養父市らしい交流・観光事業を確立し、再び訪れたいくなる市、さらには住みたいくなる市を実現する。</p> <p>(5-2) 法第5章の特別の措置を適用して行う事業<br/>道整備交付金を活用する事業</p> <p>対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を了している。<br/>なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市道（高柳小佐線）<br/>：道路法の規定する市道に平成 2 年 6 月 2 5 日に認定済</li> <li>○ 市道（鶴縄線）<br/>：道路法の規定する市道に平成 5 年 3 月 2 9 日に認定済</li> <li>○ 市道（八鹿朝倉線、岩崎線）<br/>：道路法の規定する市道に昭和60年 3 月 2 8 日に認定済</li> <li>○ <u>市道（朝倉高柳線）</u><br/>：道路法の規定する市道に平成 7 年 9 月 2 9 日に認定済</li> <li>○ 林道（須留ヶ峰線、<u>八木谷・大谷線</u>）<br/>：森林法による円山川地域森林計画（平成21年12月28日樹立）に路線を記載</li> </ul> | <p>さらに「東鉢体験村・グリーンツーリズム事業」、「別宮 ラベンダー・棚田のオーナー制度」、「轟大根ファンクラブ」、交流人増加事業「大屋棚田オーナー制度」、「岩崎 むらづくり委員会事業」、「城下町 八木の明日をつくる会事業」、「小佐 赤米の田植え・稲刈り交流事業」、「姉妹提携都市(北海道留寿都村)との交流事業」、「交流協定都市(兵庫県明石市)との交流事業」など従前から養父市内で行ってきた、交流事業、また、地場産業の再生、地域の特性を活かした新しい企業の誘致をさらに推進、定着させるため、地域住民の参画による事業実施を推進することで養父市らしい交流・観光事業を確立し、再び訪れたいくなる市、さらには住みたいくなる市を実現する。</p> <p>(5-2) 法第5章の特別の措置を適用して行う事業<br/>道整備交付金を活用する事業</p> <p>対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を了している。<br/>なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市道（高柳小佐線）<br/>：道路法の規定する市道に平成 2 年 6 月 2 5 日に認定済</li> <li>○ 市道（鶴縄線）<br/>：道路法の規定する市道に平成 5 年 3 月 2 9 日に認定済</li> <li>○ 市道（八鹿朝倉線、岩崎線）<br/>：道路法の規定する市道に昭和60年 3 月 2 8 日に認定済</li> <li>○ 林道（須留ヶ峰線、<u>本谷線</u>）<br/>：森林法による円山川地域森林計画（平成17年4月1日樹立）に路線を記載</li> </ul> |

| 新   | 旧  |
|---|--|
| <p>[施設の種類の種類 (事業区域)、実施主体]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市道 (養父市) 養父市</li> <li>○ 林道 (養父市) 兵庫県</li> </ul> <p>[事業期間]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市道 (平成19～23年度)</li> <li>○ 林道 (平成21～23年度)</li> </ul> <p>[整備量及び事業費]</p> <p>●整備量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市道 <u>L=3.39km</u></li> <li>○ 林道 <u>L=2.02km</u></li> </ul> <p>● 事業費 <u>1,459,000千円 (うち交付金 729,500千円)</u></p> <p>(内訳) 市道 <u>979,000千円 (うち交付金 489,500千円)</u></p> <p>林道 <u>480,000千円 (うち交付金 240,000千円)</u></p> <p>(5-3) その他の事業</p> <p>○地域性を生かした特産品の開発・企業誘致</p> <p>養父市には、世界一のブランド「但馬牛」の畜産農家が多数ある。農産物、林産物などの地域資源を生かし魅力的な特産品を育成することや清流にしか住まないヤマメ、アマゴなどの魚や豊富な山菜、農産物、林産物を利用した郷土料理の開発が急務である。</p> <p>また、妙見杉をアピール、利活用するための施策も緊急的な課題である。</p> <p>地域の特性 (豊かな自然・美しい空気や水) を生かした企業誘致を積極的に進めていく。</p> <p>○体験型観光施設の充実と伝統文化の継承</p> | <p>[施設の種類の種類 (事業区域)、実施主体]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市道 (養父市) 養父市</li> <li>○ 林道 (養父市) 兵庫県、<u>養父市</u></li> </ul> <p>[事業期間]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市道 (平成19～23年度)</li> <li>○ 林道 (平成21～23年度)</li> </ul> <p>[整備量及び事業費]</p> <p>●整備量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市道 <u>L=2.89km</u></li> <li>○ 林道 <u>L=1.58km</u></li> </ul> <p>● 事業費 <u>914,000千円 (うち交付金 457,000千円)</u></p> <p>(内訳) 市道 <u>554,000千円 (うち交付金 277,000千円)</u></p> <p>林道 <u>360,000千円 (うち交付金 180,000千円)</u></p> <p>(5-3) その他の事業</p> <p>○地域性を生かした特産品の開発・企業誘致</p> <p>養父市には、世界一のブランド「但馬牛」の畜産農家が多数ある。農産物、林産物などの地域資源を生かし魅力的な特産品を育成することや清流にしか住まないヤマメ、アマゴなどの魚や豊富な山菜、農産物、林産物を利用した郷土料理の開発が急務である。</p> <p>また、妙見杉をアピール、利活用するための施策も緊急的な課題である。</p> <p>地域の特性 (豊かな自然・美しい空気や水) を生かした企業誘致を積極的に進めていく。</p> <p>○体験型観光施設の充実と伝統文化の継承</p> |

| 新  | 旧  |
|--|--|
| <p>氷ノ山・ハチ高原などの観光資源を最大限に利活用するために、身近な動植物や貴重な動植物を観察できるゾーンや施設、澄み切った空気を体感できる施設や星空を観察できる天文台などを整備する。</p> <p>天滝、布滝などの景勝地までのアクセス道路、登山道、ハイキングコースを整備する。</p> <p>平成15年に国指定重要文化財・葛畑農村歌舞伎舞台で、37年ぶりに農村歌舞伎の復活公演が実施され、小さな境内に全国から3日間で1,000人のファンが訪れ、大盛況のうちに終了した。周辺の駐車場、アクセス道路を整備し、近くにある多くの文化財と併せてアピールし、利活用を図る。</p> <p>○その他</p> <p>地域再生法による特別の措置を活用するほか「まるごと自然～但馬中央の郷 養父市」を実現するため、以下の都市と農村交流を促進するソフト事業を総合的かつ一体的に行うものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 東鉢体験村・グリーンツーリズム事業</li> <li>2) 別宮 ラベンダー・棚田のオーナー制度</li> <li>3) 轟大根ファンクラブ</li> <li>4) 交流人増加事業「大屋棚田オーナー制度」</li> <li>5) 岩崎 むらづくり委員会事業</li> <li>6) 城下町 八木の明日をつくる会事業</li> <li>7) 小佐 赤米の田植え・稲刈り交流事業</li> <li>8) 姉妹提携都市(北海道留寿都村)との交流事業</li> <li>9) 交流協定都市(兵庫県明石市)との交流事業</li> </ol> <p>6～8 (略)</p> | <p>氷ノ山・ハチ高原などの観光資源を最大限に利活用するために、身近な動植物や貴重な動植物を観察できるゾーンや施設、澄み切った空気を体感できる施設や星空を観察できる天文台などを整備する。</p> <p>天滝、布滝などの景勝地までのアクセス道路、登山道、ハイキングコースを整備する。</p> <p>平成15年に国指定重要文化財・葛畑農村歌舞伎舞台で、37年ぶりに農村歌舞伎の復活公演が実施され、小さな境内に全国から3日間で1,000人のファンが訪れ、大盛況のうちに終了した。周辺の駐車場、アクセス道路を整備し、近くにある多くの文化財と併せてアピールし、利活用を図る。</p> <p>○その他</p> <p>地域再生法による特別の措置を活用するほか「まるごと自然～但馬中央の郷 養父市」を実現するため、以下の都市と農村交流を促進するソフト事業を総合的かつ一体的に行うものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 東鉢体験村・グリーンツーリズム事業</li> <li>2) 別宮 ラベンダー・棚田のオーナー制度</li> <li>3) 轟大根ファンクラブ</li> <li>4) 交流人増加事業「大屋棚田オーナー制度」</li> <li>5) 岩崎 むらづくり委員会事業</li> <li>6) 城下町 八木の明日をつくる会事業</li> <li>7) 小佐 赤米の田植え・稲刈り交流事業</li> <li>8) 姉妹提携都市(北海道留寿都村)との交流事業</li> <li>9) 交流協定都市(兵庫県明石市)との交流事業</li> </ol> <p>6～8 (略)</p> |